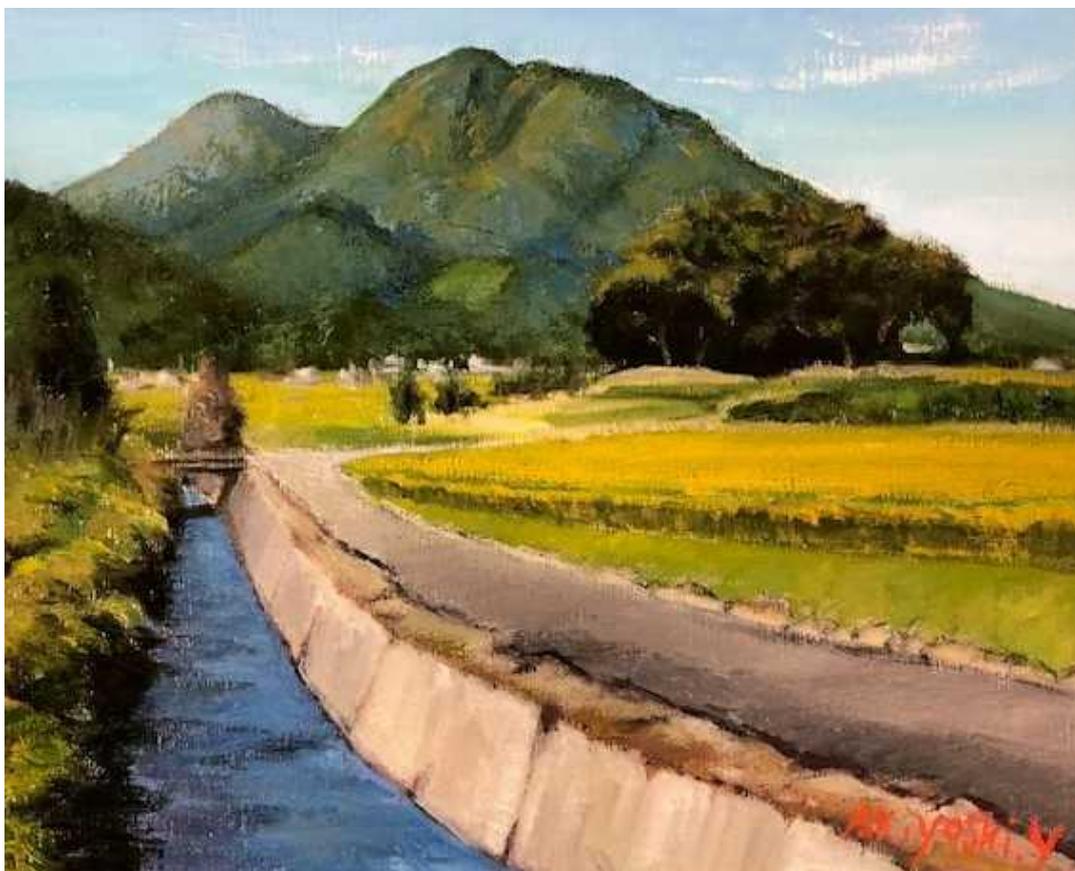


奈良弁護士会シンポジウム

「自治体議会議員の行政監視活動のあり方について」  
生活保護申請への議員の付き添い活動を題材として



2023年 **7/30** (日曜日)

午後1時45分～午後4時30分  
(午後1時15分 開場)

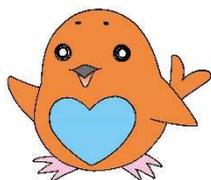
**場所** 香芝市ふたかみ文化センター  
市民ホール

〒639-0243 奈良県香芝市藤山1-17-17  
香芝市役所 北隣り

**参加費 無料 参加予約 不要**

**主催** 奈良弁護士会

**共催** 日本弁護士連合会



「奈良弁護士会公式キャラクターこまちゃん」

【問合せ先】

奈良弁護士会

奈良市中筋町22番地1

TEL 0742-22-2035

生活保護制度の利用を希望している市民が、行政の窓口において、合理的な理由もなく、申請を受理されないことがあります。「水際作戦」などといわれていますが、これは時として命に関わる問題となります。こんなとき地方議会の議員が申請を希望する市民に同行・同席することの意味は大きいのですが、これを拒否する自治体があります。今回のシンポジウムでは、市民の生存権の保障に向けて地方議会の議員が果たすことのできる役割について考えたいと思います。

また、こういった活動を行う地方議員、あるいは地方議会の多数派に属さない地方議員に対し、些細な出来事を理由に懲罰処分がなされることがあります。こんなとき頼りにしたいのが裁判所ですが、地方議会の判断に対して、どこまで裁判所が介入できるのかについては議論があります。昨今、それまでの取扱を大きく変える最高裁判例もでております。今回のシンポジウムでは、地方議会と裁判所との関係についても考えたいと思います。

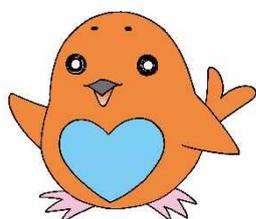
## プログラム

### 【基調講演】

- 1 生活保護利用希望者に対する水際作戦の実態と地方議員の役割  
講師 吉永 純（花園大学社会福祉学部教授）
- 2 地方議会による処分等に対する司法審査の可否・範囲  
講師 市川 正人（立命館大学法科大学院教授）

### 【パネルディスカッション】

基調講演をお願いしております2人の講師に、長年、生活保護を巡る問題に関わってきた当会の弁護士を加えたパネルディスカッションを行います。奈良県やその他の地域で発生している具体的な事例を題材に、生存権保障のあり方から地方議会と裁判所の関係まで、様々な角度から、さらに議論を深めて行きたいと思います。



今回のシンポジウムは、日弁連の貧困キャラバンを兼ねております。